

# 島のひろば

第702号

「島のひろば」編集委員会電話 04992-2-8256

くらしの相談は共産党町議団へ

小池2-9318 山田2-3670

酒井090-4545-0032

## 戦争はイヤ!! 平和憲法を今こそ世界へ イラン攻撃は国際法違反

日本共産党は、関係各国が最大限に自制し、外交交渉により恒久的な戦争終結へとつなげていくことを強く求めます。

自立の外交に転換することを目指す。今、全国で戦争反対の声があがっています。日本共産党は、戦前から戦争反対を貫いてきた党として、みなさんとともにがんばります。

大島でも悲痛な声があちこちで聞かれます。客様にご理解、ご協力いただくことを考えています。

農業従事者などから切実な声があがっています。『ポリ袋などの代わりに簡単な包装紙でもよいことを、お客様にご理解、ご協力いただくことを考えています。』

『ピニルハウスのピニル、農機具の燃料、農業、肥料等あらゆるところに影響がじわじわと出始めています。』

大島の人口減は予想以上に進んでいるが、空き町営住宅の活用は「地域おこし協力隊」や島外者の職員採用等々にも活用できることにもなる。今後については、国や東京都の管理する住宅の活用や町が空き家を改修し期限付き等で低家賃で移住者に提供するなど、賃貸物件の確保・提供、またそれらの情報発信を推進していただきたい。

府がイラン攻撃を国際法違反と認め、イラン攻撃中止を求めると、今こそ対米従属外交から抜け出し、憲法9条を活かす自主

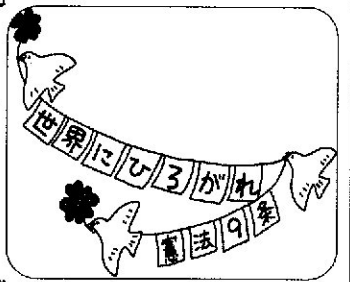
### アメリカのイラン攻撃についての主要国の立場

- スペイン 「国際法違反」 (サンチェス首相、3月2日)
  - 中国 「国際法違反」 (外務省報道官、3月2日)
  - フランス 「国際法の範囲外で承認できない」 (マクロン大統領、3月3日)
  - カナダ 「国際法に矛盾」 (カーニー首相、3月4日)
  - イタリア 「国際法の範囲外」 (メローニ首相、3月11日)
  - 日本 「世界中に平和をもたらせるのはドルドだけ。応援したい。」 (高市首相、3月19日)
- ※トランプ大統領の無法を支持する高市政権の異常さを浮き彫りに!

『介護用の手袋が入荷して来ないので在庫が切れたらどうしようかと思っています。』 (福祉用具店主の声)

『船の燃料、網などの漁具、餌代の値上がりもあって大変です。』 (漁業従事者の声)

『移住定住に関する住居不足についてはまだ改善・向上が必要と考える。』



### 3月議会一般質問

3月議会で行なわれた共産党3議員の質問のうち今回は小池・山田議員の質問を紹介します。

#### 小池渉議員

「移住定住における住居不足について」

小池 空き町営住宅の入居者資格の制限における規則の改正により、移住者の入居が一定数可能になることは喜ばしいところだが、移住者の住居不足、住居の情報不足についてはまだまだ改善・向上が必要と考える。

空き町営住宅の一部を、町内での居住や勤務期間に関わらず、資格の審査の対象とする改正について、どのように実施していくか伺いたい。

移住定住について、特に住居という観点における大島町が現在

在実施している施策は、また、大島町の移住定住における住居の提供及び住居の情報発信の現状をどのように考えるか。

他自治体では、20年間住み続けられ賃貸していた戸建て住宅を無償譲渡や、自治体により改修した空き家を低家賃で提供等々がある。

答 建設課長

現在、国へ「公営住宅の地域対応活用計画」を申請中、4月には入居可能となる予定。募集要項については、岡田地区の定住促進住宅に倣い調整中。大きな変更点としては1年ごとの更新が必要になる。設定戸数は岡田富士見団地及び差木地岳の平住宅の4部屋。島外者を対象に大島町や二三等で周知を図る。

答 政策推進課長

現在実施中の施策は、空き家バンク運営や空き家改修補助、移住体験住宅の提供、町営住宅空き室利活用が挙げられる。情報発信については、公式用等の独自媒体が主で発信力の弱さを感じている。また、物件についても需要に対して供給が追い付いていない状況。

答 町長

移住者住宅確保は、

現在、都の職員住宅

についてご協力を頂いているが今後とも国や都に相談していく。令和8年度においては、町営住宅の活用をはじめ、空き家改修補助の増額、空き家実態調査の実施、東区盛家マツプ(仮称)への参加等を予定している。将来にわたって活力ある町を次世代に引き継いでいくため、空き家の利活用における新事業を検討し、移住者をもとより、住民にとってメリットのある移住住宅施策を推進してまいりたい。

山田忠敬議員

「家族介護者の支援について」

山田 家族介護をする人を孤立させないため、現在住民課で取り組まれている「家族介護者フレッシュ交流会」は十分に評価できるものだ

と思うので、たとえ

参加者が2人でも3人でも継続してほしいと思います。今年度はレクのリフレッシュだったようですが、自分の経験や現状、苦労などを語りあう場も必要だと思います。介護している者同士ならでの交流の場面もあっていいのではないかと思います。今年度のような取り組みと二本立てで実施していければいいのではないかと思います。

家族介護者への支援

でもう一つ、島外に住む家族が介護のために来島し、通うというケース。そこには交通費の問題があります。そこで島民割引を介護来島者にも適用してくれるよう東海汽船との交渉をしてほしい。島民証明と同様に介護来島証明書を住民課で発行すれば確認はできるはずですが、こ

れは町長の出番だと思

いますので、お願いします。住民課長答弁 住民課では実施に当たり地域包括支援センターと連携し、アンケータをとるなど工夫しながら取り組んでいます。来年度は「リフレッシュのための交流」と「介護の苦労などを語り合う交流」の事業も予定しています。

町長答弁 東海汽船

の収支状況も考慮しながら、町村会等において各島の状況等も聞き、意見交換したいと思います。

※山田議員は、「国

保税値上げに関して」と題して一般質問を行いました。国保税値上げには反対であることを主張しましたが、国保税値上げ問題は本紙3月号でも取り上げたので今回は省略させていただきます。

大島文学・紀行散策

拾遺編

吉行淳之介 「夏の休暇」

五

560 孝 良 時 得

一郎(淳之介)親子が三指で、大腿の肉をぎゅつと摘原山登山をしたころは、投が付いていなかったが、脚だけ身自殺も多く、その対策として案内人や監視人の増員、勝手に走り出すかも知れない火口周辺に木製の柵を設置するなどの防止策をとったものとみえる。」

が、柵を超えて火口を見学する人、投身自殺を図る人は激減することはなかった。多くの人は、「ああ怖い怖

一郎は、その柵の前に立っていと引き返すが、火口に吸火口を観察する。その場面は上述したようになかなか減を引用する。

《一郎の眼には、火口が映っ

ている。白い薄い煙を透して、山見学で終わり、父親の提案で、ここで若い女性と列れ、一郎親子は熱川に5日間逗留することになった。父親の提案だった。一郎がこんな

一瞬、一郎はかるい眩暈を覚えた。気がついてみると、ズボンのポケットに入れた手のははじめての体験だった。